

医療機関対象「梅毒研修会」を開催します



2023年5月23日
郡山市保健福祉部
保健所次長兼総務課長
半澤 正幸

ターゲット 3.3 TEL：924-2120

SDGs ターゲット 3.3 「伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する」

患者が急増している梅毒について、梅毒患者が診療科を問わず受診する事例も増えてきたと考えられることから、医療機関向けの研修会を開催します。

- 1 日時 5月25日(木) 午後7時～午後8時30分
- 2 場所 郡山市役所本庁舎2階 特別会議室
- 3 対象者 郡山市内の病院、診療所に勤務する医師、看護師等
- 4 内容

(1)開会

(2)あいさつ

郡山医師会 会長 土屋 繁之 様

郡山市保健所 所長 郡司 真理子

(3)梅毒総論・各論

座長 医療法人エイレイチュア岡崎バースクリニック院長 岡崎 隆行 様

①郡山市内の医療機関における梅毒感染者の現状について

保健所保健・感染症課 感染症係 係長 福元 智子

②梅毒の総論

医療法人石橋医院 石橋医院 院長 石橋 啓 様

③症例提示

・皮膚科

医療法人社団長谷川皮膚科医院 長谷川皮膚科医院 院長 長谷川 隆哉 様

・泌尿器科

医療法人うちだ泌尿器・腎クリニック うちだ泌尿器・腎クリニック

院長 内田 久志 様

(4)質疑応答

※ 本研修は郡山市と一般社団法人郡山医師会との共催となります。

※ 研修会は公開しますが、動画撮影等については一部、非公表部分も含まれますので、御了承をお願いいたします。



2024(令和6)年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま

<梅毒とは>

梅毒トレポネーマという細菌に感染している人との性的な接触（他人の粘膜や皮膚と直接接触すること）などによってうつる感染症です。

近年全国的に患者数が増加傾向にあり、本市でも 2022 年度の患者報告数が 69 件（6 年前と比べて約 4 倍）と、過去 10 年間で最多となっています。

梅毒検査は、HIV 検査と同時に保健所で受けられます。検査を希望される方は、保健・感染症課までご連絡ください。

症状：口の中、肛門、性器などにしこりができることがあります。治療しなくてもしこりが消失してしまう場合もあり、感染から 3 か月程度経過すると、バラ疹とよばれる赤い色の湿疹が手のひら、足の裏、体幹などに出ることがあります。

治療：服薬や注射で治療できます。詳しくは、最寄りの医療機関へお問い合わせください。

2017～2022年度における市内梅毒患者数の推移

